

製品の開発	5		組
製品の販売組織	5		組
観光事業の市場戦略	5		組
コミュニケーション戦略	5		組
得点の上限	100	0	
2.6 ジオパークでは地質遺産を保護し、持続性のあるジオツーリズムを立ち上げる義務があります。このために、これまでどのようなことがなされてきましたか			
観光事業開発の目玉となる区域の画定	25	25	管
観光事業を導入しない地域の画定(保護・研究対象区域)	20		管
交通の規制と削減のための対策(通行規制, 集中駐車場, 交通誘導システム, 標識など)	15		管
環境にやさしい散策路システム	10	10	管
自転車, あるいは馬や船などによる探索路の整備	10		管
2.7 自然文化遺産の宣伝を検討するイニシアチブや作業部会がありますか			
特定のテーマで作業部会が定期的に会合している	20	20	組
申請者, 観光協会, その他の利害関係者間で, 個々の協力や協定がある	10		組
上記以外の定期的な活動がある	10		組
得点の上限	120	55	
2.8 申請地域は過去5年間に, 地質的多様性, 保護や持続性のあるジオツアーに関する活動で, 何らかの賞や公的な認定を受けたことがありますか(自己採点合計は100点を越えることはできません)			
国際的な賞(名称と受賞の日付)	80		組
国内の賞(名称と受賞の日付)	40		組
持続性のある観光事業として欧州から認証されている	50		組
欧州理事会により European diploma に指定されている	50		組
その他(例: 産業界から, など)(名称と受賞の日付)	20		組
得点の上限	100	0	
2.9 科学的根拠に立ち, 研究を進めることのできる優秀な地質学者あるいは科学の専門家がいますか(自己採点合計は140点を越えることはできません)			
現役の地球科学研究者1人以上が顧問となっている	10		組
あるいは			
地球科学または関連分野の学位を持つ常勤職員が1人以上いる	20		組
地球科学または関連分野の学位を持つスタッフが, 申請機関の職員として5人以上いる	10		組
それに加えて, 上記以外を専門とする常勤職員がいる(例: 生物学など)	10		組
1つ以上の科学研究機関(大学, 国の地質調査所など)と定期的かつ公的に共同活動を行っている	15		組
ふだん, 誰から助言を受けていますか			
地球科学研究の経験を持つ人	15		組
地球科学分野の経験を持つ人	10		組
アマチュア	5		組
専門家のネットワークがある	10		組
そのネットワークにはいくつかの専門分野から参加者がいますか			

	5分野以下	5		組
	5分野以上	10		組
マーケティングの専門家はいますか. いない場合, 担当者は誰ですか		5		組
広報部はありますか. ない場合, 担当者は誰ですか		5		組
プロダクトマネージャーはいますか. いない場合, 担当者は誰ですか		5		組
野外ツアーやガイド付散策の案内ができるスタッフがほかにもいますか		5		組
事務担当職員はいますか		5		組
博物館職員はいますか		5		組
	得点の上限	140	0	
2.10 申請地域には次の施設がありますか				
地域内に申請機関やその協力者が運営する博物館		80	80	管
地域内にインフォメーションセンター		60		管
地域内に, 申請者, 申請者の目的と職務などを伝える「情報キオスク」か地域の情報拠点		40		管
地域内に案内板		20	20	管
地域内に申請者が整備したあるいは整備に関わった地質探索路がある		40	40	管
	得点の上限	240	140	

「管理組織」項目の小計	得点の上限	自己採点
	940	195

III. 情報と環境教育	点数	自己採点	
3.1 地域内における研究, 情報, 教育などの科学活動			
地域内で活動する科学ないし学術研究機関が1つ以上ある	40	40	人
少なくとも1年に1件, 卒論や修論(地質図作成など)の対象となる	20	20	人
過去3年間で1件以上, 申請地域に関する学位論文が発表されている	40	40	人
過去5年間で5件以上, 科学的な, あるいは観光事業に関する申請地域の学術論文が発表されている	40		人
得点の上限	140	100	
3.2 申請の地域内で, 環境教育プログラムを行っていますか			
申請機関の常勤職員に, チーム内で主にこうした業務を行う環境教育の専門家がいますか	50		人
何らかの公的な教育プログラムを実施していますか(どのようなプログラムか, 簡単に説明してください)	30		人
他機関(博物館など)が実施する公的な教育プログラムのいずれに関わっていますか	20		人
1人でも参加できる子供用プログラムがありますか	20		人
小学生向けのプログラムを行っていますか	20		人
中学・高校生向けのプログラムを行っていますか	20		人
大学生向けのプログラムを行っていますか	20		人
申請地域に大学のキャンパスか教育センターがありますか	20	20	人
得点の上限	200	20	
3.3. どのような教材がありますか(自己採点合計は120点を越えることはできません)			
教室での新教材を開発しましたか	20		情
映画, ビデオ, スライドなど	20	20	情
双方向性教材/ インターネット	20		情
特別展示を定期的に更新	20	20	情
特殊な教育用具(パズル, 特殊な道具など)	20		情
その他, 8歳以下の子供を対象とした教材を製作しましたか	20		情
得点の上限	120	40	
3.4 申請地域に関する出版物はありますか			
地質遺産の保護に関するもの	15		情
地域の地史に関するもの	15	15	情
地域での環境にやさしい行動に関するもの	15	15	情
地域内で観察できるものを上記以外の博物学的視点から見たもの	15	15	情
歴史に関するもの	10	10	情
得点の上限	70	55	
3.5 知的関心を集めるための活動として, どのようなことを行っていますか			
印刷物(パンフレット, 雑誌など)	25	25	情
一般向けの読み物(書籍, ガイドブック)	15	15	情
CDやビデオ	15		情
その他の宣伝用素材, 製品	15		情
得点の上限	70	40	

3.6 宣伝用製品は何ヶ国語で製作されていますか（自己採点合計は 80 点を越えることはできません）			
英語	10	10	情
フランス語	10		情
			情
			情
スペイン語	10		情
ロシア語	10		情
中国語	10	10	情
アラビア語	10		情
			情
複数言語での出版	10		情
1言語ごとに10ポイントを加えてください			情
得点の上限	80	20	
3.7 団体旅行など、集団での生徒・学生向け地質学教育の対策がありますか（自己採点合計は 90 点を越えることはできません）			
申請機関あるいは協力機関の職員によるガイド付ツアー	30	30	ツ
すべての利用者向けに日常的に行われている標準プログラム	10		ツ
人数を限定する（ガイド1名あたり 30 名まで、など）	10		ツ
天候などの理由でツアーが実施できない場合の代替案は用意されていますか	10		ツ
年令別のプログラムが用意されていますか	20		ツ
科学の特別プログラムは用意されていますか	20		ツ
申請地域に関する教員向けの研修は用意されていますか	20		ツ
得点の上限	90	30	
3.8 教育 – ガイド			
専門の顧問として現役の地球科学者が1人以上いる	10		人
申請機関がその立ち上げに関わったガイド付ツアーの案内ができる専門家が1人以上いる	20		人
（グループでなく）個人を案内するガイド	10		人
申請機関がトレーニングとプログラムを支援するフリーランスのガイドがいる	10		人
研修コース	10		人
得点の上限	60	0	
3.9 学校関係者による申請地域の利用の促進のために、どのような情報を送りたいと考えていますか			
学校や大学に手紙を出す	20		情
パンフレット	20	20	情
マスコミへの発表（新聞、ラジオ、テレビ）	20	20	情
申請者が発行する定期刊行物（新聞、ニュースレターなど）	20	20	情
得点の上限	80	60	
3.10 学校用のプログラムとしてインターネットを利用しますか。どのようなサービスを提供しますか			
申請地域に関する環境教育などの一般情報を載せたウェブサイトを作成	40	40	情
教育プログラムに対する対応はEメールで行う	20		情
ニュースレターを定期的にEメールで配信	15	15	情
最新の活動カレンダー	15	15	情
得点の上限	90	70	

「情報と環境教育」項目の小計	得点の上限	自己採点
	1000	435

IV. ジオツーリズム	点数	自己採点	
4.1 インフォメーションセンターや地域情報の展示が、申請地域内にありますか（自己採点合計は 100 点を越えることはできません）			
申請機関ないしその協力機関が運営するインフォメーションセンターが地域内に 1 ヶ所以上ある	30		情
現時点でセンターはないが、申請機関が他の施設（博物館など）で展示を行っている	10		情
申請機関ないしその協力機関が運営する情報拠点やそれに準じる施設が地域内にある	20	20	情
巡検時に説明をしたり集合場所となるインフォメーションセンターがある	10	10	情
インフォメーションセンターでは車椅子の利用が可能ですか、また他の障害者にも対応できますか	10	10	情
参加可能な地域内での活動情報は、利用者に個々に提供されますか	10		情
センターには観光案内所がありますか	10		情
センターは公共交通機関を使って行くことが可能ですか	10	10	ツ
センターは年間を通して週6日以上開館しますか（悪天候の場合を除く）	10	10	管
得点の上限	100	60	
4.2. インフォメーションセンターやポイントでは、情報や説明をどのように掲示しますか			
ふつうの掲示板・パネル	10	10	情
映画、ビデオ、スライドショーなど	10	10	情
双方向ディスプレイ	10	10	情
定期的に変更される特別展示	40	40	情
得点の上限	70	70	
4.3 交通の便と設備			
申請地域には公共交通機関を使って行くことが可能ですか	200	200	交
独自の輸送手段を考えていますか	100		交
徒歩や自転車用の探索路は公共交通を使って行くことが可能ですか	100	100	交
申請機関が設けた探索路入口には駐車場設備がありますか	100		管
駐車場には便所がありますか	50	50	管
得点の上限	550	350	
4.4 公共交通をつかって来園するよう、利用者に呼びかけますか			
申請地域の宣伝用チラシ、パンフレットやホームページなどに、公共交通の情報を載せる	20	20	情
交通機関の時刻表などの情報が掲載されたホームページに対して、申請地域や観光団体のホームページからリンクをはる	20		情
公共交通、自転車など環境にやさしい方法で来園した人には、特別サービスを提供する	20		情
得点の上限	60	20	
4.5 申請機関やその協力機関が作成したガイド付ツアーとして、どのようなものがありますか			
地質学や地形学に興味のあるグループ向けツアー	10		ツ
シーズン中定期的に行われるツアー	10		ツ

幅広い参加者を対象としたツアー	20		ツ
障害者用ツアーはありますか	10		ツ
資格をもつガイドによるツアー	10		ツ
グループの人数を制限（ガイド1名あたり30名まで、など）	10		ツ
天候などの理由でツアーが中止になった場合の代替案	10		ツ
参加者に融通の利く予約システム（当日受付可など）や予約不要であるか	10		ツ
得点の上限	90	0	
4.6 利用者に申請地域を理解してもらうため、他に何を考えていますか			
公園入口付近や観光地などに読みやすい説明板を掲示する	50	50	情
申請機関ないし協力機関によって整備された地質をテーマにした探索路が1つ以上ある	40	40	情
探索路沿いの説明板は定期的に点検・清掃されている	10	10	情
得点の上限	100	100	
4.7 他機関との間で、情報や活動調整をどのように行いますか			
情報や宣伝用品を共用する	20		情
得点の上限	20	0	
4.8 案内用の資料などは他に何がありますか（5年以内に作成されたもの）			
パンフレット	10	10	情
季節ごとに変わるチラシ	15		情
申請地域について書かれた書籍など	15	15	情
映画、ビデオ、CD、DVDなど	15	15	情
宣伝用の冊子	15		情
インターネットメディア	15	15	情
その他	15		情
得点の上限	100	55	
4.9 インターネットを利用しますか、またその場合、どのようなサービスを提供しますか			
地域についての情報を載せたホームページを作る	40		情
観光協会、地域住民、地方自治体などのホームページにリンクをはり、申請地域のさまざまな情報が得られるようにする	10		情
ジオパーク管理者にEメールで連絡が取れる	5		情
ニュースレターを定期的にメールで配信	10	10	情
出版物の注文をオンラインで受ける	10		情
最新の活動カレンダー	15	15	情
来訪者が参加できるツアーなどの案内	10		情
得点の上限	100	25	
4.10 乗馬、カヌー、サイクリング等の活動施設には、どのようなものがありますか			
観光や科学的に興味深い地点を結ぶ徒歩探索路網	10	10	管
一定の基準で道標が探索路全体に整備されている	10		管
施設等は定期的に点検し、确实迅速に補修を行う	10	10	管
ハイキングやサイクリング用の情報を載せた地図がある	10	10	管
これまでの設問で点数に加えなかった、特定のテーマ（鉱山、考古学、建築など）に関する探索路がある	10		管
ガイド付の自転車や徒歩などによるツアーがある、または協力機関が対応している	10		ツ
ハイキングやサイクリング用の数日間のパッケージツアー（食	10		ツ

事と宿泊込み)がある, または協力機関が対応している			
手荷物搬送付の数日間のパッケージツアー(食事と宿泊込み)がある, または協力機関が対応している	10		ツ
何らかの基準に基づき、ハイキング・サイクリング向けと定義される、運営組織と協力して活動するホテルやペンションのネットワークがあるか	20		情
得点の上限	100	30	
4.11 ジオツーリズムをどう実現しますか。ツアーの実際の担当者(社)にどうやってよい連携を持ちますか。			
直接個人的に、あるいは組織を通じて会う	10		情
よい実例を奨励するために定期的に表彰を行う	20		情
公式な協力者/助言者/スポンサーを選ぶ、あるいは指名する	20		情
得点の上限	50	0	
4.12 持続可能な手段で(車を使わない、など)楽しめる次のような探索路はありますか			
地質の探索路	20	20	管
文化の探索路	10	10	管
森の探索路	10	10	管
その他の探索路	10		管
これまでに書かれていないその他の野外活動	10		管
得点の上限	60	40	
4.13 利用者の見積り			
利用者数をどのように把握しますか	25	25	情
入場券/利用者カウンター			情
ツアーの参加者数			情
推定			情
来訪者の調査			情
利用者がどこから来たかを調べますか	25		情
予約時の住所			情
市場調査			情
大学の研究			情
今後の計画にこうした利用者調査を用いますか	25		情
利用者の社会経済プロフィール(家族構成、学年、年金受給者か、団体旅行か、など)について分析を行いますか	10		情
利用者の満足度調査を行いますか	15		情
得点の上限	100	25	

「ジオツアー」項目の小計	得点の上限	自己採点
	1400	775

V. 地域経済の将来性	点数	自己採点	
5.1 地場の食材や工芸品の仕出などへの利用を推進するため、どのような工夫を考えていますか			
申請機関が開発あるいは積極的に支援した地元の食材や環境にやさしい製品などを推進している	50		ツ
地元の食材や環境にやさしい製品を利用するレストランがある	30	30	ツ
申請機関が地域の農産品販売所を作っている	50		ツ
独自ブランドの地元の食材や、独自の料理がある	30	30	ツ
地域の農産品の直売を推進している	40		ツ
得点の上限	200	60	
5.2. ジオツーリズムの土産品などを地元で開発・推進するため、どのような工夫を考えていますか（自己採点合計は 100 点を越えることはできません）			
地質・化石模型などの制作を推進する計画がある	50		ツ
模型などの土産品が地元で製作されている	30		ツ
申請機関やその協力機関に地元の製品を中心に扱う販売所や店がある	50	50	ツ
得点の上限	100	50	
5.3. 地域の手工芸品などの活性化をどのように進めますか			
地域の手工芸品の販売を積極的に支援している	40		ツ
地域の手工芸品の展示ケースがある	40	40	ツ
得点の上限	80	40	
5.4 申請者が地場産業との結びつきを進めるため、どのようなことを考えていますか			
申請機関が単独または他機関と協力して開発した地元製品やサービスに独自ブランドがある	40		ツ
申請機関が中心となって、地元製品の直売を推進している	20		ツ
地元産業と協力したツアーを観光業者が提供している	20		ツ
得点の上限	80	0	
5.6 申請の地域で、地場産業と通常どのような協定を結んでいますか			
修繕、管理などのサービス	40		ツ
デザインや印刷	40		ツ
ジオツアーやその説明に必要なそれ以外の備品やサービス（運送、展示ケースなど）	40		ツ
得点の上限	120	0	
5.7 ネットワーク			
申請機関が援助する協力企業のネットワークがある	40		ツ
申請機関とその協力者との間に正規の契約がある	30		ツ
申請機関、企業、地方自治体間で出資する共同プロジェクトがある	50		ツ
得点の上限	120	0	

「地域経済の将来性」項目の小計	得点の上限	自己採点
	700	150

添付書類

(2006 年 4 月、和訳 2008 年 6 月)

国際ジオパークネットワークに加入するために ユネスコからの支援を申請するジオパークの 自己評価と進捗状況評価用紙 (申請者用)



この用紙に記入いただいた内容はユネスコの専門家グループに提供され、申請地域の概要を把握するための資料とされます。用紙は A と B の 2 種類あります。

A) 地域の説明

- 事務手続上の欄(申請者の情報, 署名, 概要)
- 地域の確認
 - I. 地質と景観
 - II. 管理組織
 - III. 情報と環境教育
 - IV. ジオツーリズム
 - V. 地域経済の持続性

B) ジオパーク進捗状況評価

1. 欧州ジオパークネットワークとの関係
2. 管理組織と財政状態
3. 地質遺産保存に向けた戦略
4. 戦略的パートナーシップ
5. マーケティングと宣伝
6. 地域産業の将来性

A) 地域の説明

申請者

1. 申請者(機関)の名称

石鎚～四国カルスト～仁淀川流域

2. 申請者(機関)の住所

地域:	
国:	
電話:	
ファクス:	
Eメール:	

3. 申請地域の面積 (km²)

--

4. 連絡先

地球科学関係者	
地域開発担当者	
ジオパーク責任者/運営責任者	

5. 国際ジオパークネットワークのガイドラインにある目標と原則に同意していただける場合、署名をお願いします

氏名	職務上の肩書	日付
署名		
氏名	職務上の肩書	日付
署名		

書類 A: 評価用	申請者の自己採点	審査員の評価
満点を 100%とした%h 表示で	46%	
		氏名:

申請の概要

	カテゴリー	重み係数 (%)	申請者の 自己採点	審査員の評価
I	地質と景観			
1.1	地域	5	620	
1.2	地質遺産の保存	20	810	
1.3	自然文化遺産	10	720	
II.	運営組織	25	270	
III	情報や環境教育	15	315	
IV	ジオツアー	15	820	
V	地域経済の将来性	10	170	
合計		100	3725	

申請する場合の注意

- 本申請書内で申請者が推薦した点すべてに対し、それを裏付ける文書を添付してください
- 新規申請の評価が 100 %になることは期待されていません。ただし、すべての判定分野において、50 %以上の評価がなされていないと、申請することができません

I. 地質と景観		点数	自己採点	
1.1 地域				
候補地の環境				
1.1.2 地域内にある地質学的意義をもつ“ジオサイト”の数				資
	20ヶ所以上	80		資
	40ヶ所以上	140	140	資
一般向けの説明があるサイトの数(探索路, 説明板, パンフレットなど)				
	5-10ヶ所	40		資
	10-20ヶ所	80	80	資
	20ヶ所以上	120		資
科学的に重要性なサイト	25%以上	40	40	資
教育用のサイト	25%以上	40	40	資
ジオツアー用のサイト	25%以上	40	40	資
地質的要素のないサイト		20	20	資
	得点の上限	400	360	
1.1.3 既存のジオパークとの関係 (次の中から一つを選んでください)				
既存のジオパークに比べ, はるかに優れている		300		資
同じ大陸に, 同程度の地質学的意義や設備をもつジオパークがある		260	260	資
国内に, 同程度の地質学的意義や設備をもつジオパークがある		210		資
国内の同じ地方に, 同程度の地質学的意義や設備をもつジオパークがある		150		資
地質学的に同じである付近の地域に, 同程度の地質学的意義や設備をもつジオパークがある場合, その距離が,	200 km 以上	100		資
	200 km 以内	60		資
	得点の上限	300	260	

「地域」の小計	得点の上限	自己採点
	700	620

1.2. 地質遺産の保護	点数	自己採点	
1.2.1 地質多様性			
申請地域には、地質年代区分上のいくつかの「紀」が地質体として見られますか(各 5 点で、最大 50 点まで)	50	40	資
申請地域には、いくつかのはっきりと異なった岩石が見られますか(各 10 点で、最大 50 点まで)	50	50	資
申請地域には、地質学的、地形学的にはっきりした特徴がいくつかありますか(各 10 点で、最大 100 点まで)	100	100	資
得点の上限	200	190	
1.2.2 申請地域には、どのようなタイプのジオサイトがありますか(自己採点合計は 400 点を越えることはできません)。			
世界的に重要なジオサイトが1ヶ所以上ある	160	160	資
地質学的、地形学的に異なる種類のジオサイトが3ヶ所以上ある	120	120	資
国内で重要なジオサイトが5ヶ所以上ある	120	120	資
教育的意義があり、学校教育や大学で利用できるジオサイトが20ヶ所以上ある	150		資
ジオサイトのデータベースはありますか	90		資
ジオサイトを示した地図はありますか	60		資
得点の上限	400	400	
1.2.3 地質学的サイトやその特徴の損傷を予防する対策(1つだけ選んでください)			
申請地域全体を対象とする法的規制がある	300		資
科学的に重要な地域内の一部区域が、法令による保護区として保護されている	120	120	資
地質遺産の破壊や持ち去りが禁止されている	150		資
申請地域の少なくとも半分以上の区域が、保護区または協定により保護されている	90		資
得点の上限	300	120	
1.2.4 ジオサイトの損傷や不正な利用を予防するために、何をしますか			
損傷や不正利用を取り締まる法令を告示する	40	40	資
損傷や不正利用を取り締まる法令を、各サイトに掲示する	40		資
監視所を設置し、監視員による監視や巡回を行う	60		資
法令実施の措置を行う(採掘や採取の禁止など)	40		資
区域を定め、指導員のもとでの地質標本採取を許可する	20		資
得点の上限	200	40	
1.2.5 ジオサイトとそれに関わる施設を損傷や自然劣化などから保護するために、どのような手段を考えていますか			
定期的なメンテナンスと清掃	60	60	資
保存対策	70		資
保護対策(自然劣化防止用の処理、シーリングなど)	70		資
得点の上限	200	60	

「地質面の保護」の小計	得点の上限	自己採点
	1300	810

1.3 自然遺産、文化遺産	点数	自己採点	
1.3.1 自然に関するランク(自己採点合計は 300 点を越えることはできません)			
ジオパーク地域内に世界遺産または人間と生物圏計画に基づく保存地域がある	300		資
ジオパーク地域内に上記以外の国際的な指定を受けた地域がある	240		資
ジオパーク地域内に国の指定地域がある	180	180	資
ジオパーク地域内に地方(県)の指定地域がある	120	120	資
ジオパーク地域内に市町村の指定地域がある	60		資
得点の上限	300	300	
1.3.2 文化面でのランク(自己採点合計は 300 点を越えることはできません).			
ジオパーク地域内に世界遺産または人間と生物圏計画に基づく保存地域がある	300		資
ジオパーク地域内に上記以外の国際的な指定地域がある	240		資
ジオパーク地域内に国の指定地域がある	180	180	資
ジオパーク地域内に地方(県)の指定地域がある	120		資
ジオパーク地域内に市町村の指定地域がある	60		資
得点の上限	300	180	
1.3.3 自然遺産、文化遺産の利用促進			
定期的なメンテナンス	40	40	資
解説と教育	80	80	資
コミュニケーション	80		資
保存	80		資
一般社会への宣伝	120	120	資
得点の上限	400	240	

「自然遺産、文化遺産」の小計	得点の上限	自己採点
	1000	720

「地質と景観」の項の合計点	得点の上限	自己採点
	3000	2,150

II. 管理組織		点数	自己採点	
2.1 組織の運営はどのように行われますか				
責任の範囲と分担が明確に定められている		40		組
効率的な組織で持続性ある開発と保護の促進を行う		40		組
予算は独自に管理される		20		組
得点の上限		100	0	
2.2 運営計画や基本計画は出来上がっていますか(自己採点合計は 140 点を越えることはできません)				
ある(過去10年以内に作成されたもの)		40		組
準備中(今後2年以内に完成予定)		20		組
2.3 基本計画の項目				
計画が出来上がっている場合、そこにはどのような項目が含まれていますか(項目を5つあげ、それぞれについて資料を添付してください)		20		組
計画が出来ていない場合、これまでにどのような項目が出されましたか(項目を5つあげ、それぞれについて資料を添付してください)		10		組
管理運営面の長所と弱点が分析されている		20		組
地質面その他の「資産」について監査がされている		20		組
次の項目に関する長所と弱点の分析がなされている				
	地質	5		組
	景観保護	5		組
	観光事業としてのジオツーリズム	5		組
	農業と林業	5		組
地域開発(県/市町村単位)の可能性について分析がなされている		10		組
重要な分野(地質学的特徴、ジオツーリズムなど)に対する開発の明確な目標がある		10		組
持続可能な開発のモデルがある		10		組
得点の上限		140	0	
2.4 3年、ないし5年の実行計画がありますか				
実行計画があり、遂行中		40		組
準備中(2年以内に完成のこと)		20		組
得点の上限		40	0	
2.5 マーケティング戦略がありますか(自己採点合計は 100 点を越えることはできません)				
ある(過去10年以内に作成されたもの)		50		組
準備中(2年以内に完成のこと)		20		組
2.5.1. あると答えた場合、どのような項目が含まれていますか				
市場調査		10		組
製品の開発		10		組
製品の販売組織		10		組
観光事業の市場戦略		10		組
コミュニケーション戦略		10		組
2.5.2. ないと答えた場合、これまでにどのような項目が個々に出されましたか				
市場調査		5		組

製品の開発	5		組
製品の販売組織	5		組
観光事業の市場戦略	5		組
コミュニケーション戦略	5		組
得点の上限	100	0	
2.6 ジオパークでは地質遺産を保護し、持続性のあるジオツーリズムを立ち上げる義務があります。このために、これまでどのようなことがなされてきましたか			
観光事業開発の目玉となる区域の画定	25	25	管
観光事業を導入しない地域の画定(保護・研究対象区域)	20		管
交通の規制と削減のための対策(通行規制, 集中駐車場, 交通誘導システム, 標識など)	15		管
環境にやさしい散策路システム	10	10	管
自転車, あるいは馬や船などによる探索路の整備	10		管
2.7 自然文化遺産の宣伝を検討するイニシアチブや作業部会がありますか			
特定のテーマで作業部会が定期的に会合している	20	20	組
申請者, 観光協会, その他の利害関係者間で, 個々の協力や協定がある	10		組
上記以外の定期的な活動がある	10		組
得点の上限	120	55	
2.8 申請地域は過去5年間に, 地質的多様性, 保護や持続性のあるジオツアーに関する活動で, 何らかの賞や公的な認定を受けたことがありますか(自己採点合計は 100 点を越えることはできません)			
国際的な賞(名称と受賞の日付)	80		組
国内の賞(名称と受賞の日付)	40	40	組
持続性のある観光事業として欧州から認証されている	50		組
欧州理事会により European diploma に指定されている	50		組
その他(例: 産業界から, など)(名称と受賞の日付)	20		組
得点の上限	100	40	
2.9 科学的根拠に立ち, 研究を進めることのできる優秀な地質学者あるいは科学の専門家がいますか(自己採点合計は 140 点を越えることはできません)			
現役の地球科学研究者1人以上が顧問となっている	10		組
あるいは			
地球科学または関連分野の学位を持つ常勤職員が1人以上いる	20	20	組
地球科学または関連分野の学位を持つスタッフが, 申請機関の職員として5人以上いる	10		組
それに加えて, 上記以外を専門とする常勤職員がいる(例: 生物学など)	10	10	組
1つ以上の科学研究機関(大学, 国の地質調査所など)と定期的かつ公的に共同活動を行っている	15		組
ふだん, 誰から助言を受けていますか			
地球科学研究の経験を持つ人	15		組
地球科学分野の経験を持つ人	10		組
アマチュア	5		組
専門家のネットワークがある	10		組
そのネットワークにはいくつかの専門分野から参加者がいますか			

	5 分野以下	5		組
	5 分野以上	10		組
マーケティングの専門家はいますか. いない場合, 担当者は誰ですか		5		組
広報部はありますか. ない場合, 担当者は誰ですか		5		組
プロダクトマネージャーはいますか. いない場合, 担当者は誰ですか		5		組
野外ツアーやガイド付散策の案内ができるスタッフがほかにもいますか		5		組
事務担当職員はいますか		5		組
博物館職員はいますか		5	5	組
	得点の上限	140	35	
2.10 申請地域には次の施設がありますか				
地域内に申請機関やその協力者が運営する博物館		80	80	管
地域内にインフォメーションセンター		60		管
地域内に, 申請者, 申請者の目的と職務などを伝える「情報キオスク」か地域の情報拠点		40		管
地域内に案内板		20	20	管
地域内に申請者が整備したあるいは整備に関わった地質探索路がある		40	40	管
	得点の上限	240	140	

「管理組織」項目の小計	得点の上限	自己採点
	940	270

III. 情報と環境教育	点数	自己採点	
3.1 地域内における研究, 情報, 教育などの科学活動			
地域内で活動する科学ないし学術研究機関が1つ以上ある	40	40	人
少なくとも1年に1件, 卒論や修論(地質図作成など)の対象となる	20	20	人
過去3年間で1件以上, 申請地域に関する学位論文が発表されている	40	40	人
過去5年間で5件以上, 科学的な, あるいは観光事業に関する申請地域の学術論文が発表されている	40		人
得点の上限	140	100	
3.2 申請の地域内で, 環境教育プログラムを行っていますか			
申請機関の常勤職員に, チーム内で主にこうした業務を行う環境教育の専門家がいますか	50	50	人
何らかの公的な教育プログラムを実施していますか(どのようなプログラムか, 簡単に説明してください)	30		人
他機関(博物館など)が実施する公的な教育プログラムのいずれに関わっていますか	20		人
1人でも参加できる子供用プログラムがありますか	20		人
小学生向けのプログラムを行っていますか	20		人
中学・高校生向けのプログラムを行っていますか	20		人
大学生向けのプログラムを行っていますか	20		人
申請地域に大学のキャンパスか教育センターがありますか	20		人
得点の上限	200	50	
3.3. どのような教材がありますか(自己採点合計は120点を越えることはできません)			
教室での新教材を開発しましたか	20		情
映画, ビデオ, スライドなど	20	20	情
双方向性教材/ インターネット	20		情
特別展示を定期的に更新	20	20	情
特殊な教育用具(パズル, 特殊な道具など)	20		情
その他, 8歳以下の子供を対象とした教材を製作しましたか	20		情
得点の上限	120	40	
3.4 申請地域に関する出版物はありますか			
地質遺産の保護に関するもの	15		情
地域の地史に関するもの	15	15	情
地域での環境にやさしい行動に関するもの	15	15	情
地域内で観察できるものを上記以外の博物学的視点から見たもの	15	15	情
歴史に関するもの	10	10	情
得点の上限	70	55	
3.5 知的関心を集めるための活動として, どのようなことを行っていますか			
印刷物(パンフレット, 雑誌など)	25	25	情
一般向けの読み物(書籍, ガイドブック)	15	15	情
CDやビデオ	15		情
その他の宣伝用素材, 製品	15		情
得点の上限	70	40	

3.6 宣伝用製品は何ヶ国語で製作されていますか（自己採点合計は 80 点を越えることはできません）			
英語	10	10	情
フランス語	10		情
			情
			情
スペイン語	10		情
ロシア語	10		情
中国語	10		情
アラビア語	10		情
			情
複数言語での出版	10		情
1言語ごとに10ポイントを加えてください			情
得点の上限	80	10	
3.7 団体旅行など、集団での生徒・学生向け地質学教育の対策がありますか（自己採点合計は 90 点を越えることはできません）			
申請機関あるいは協力機関の職員によるガイド付ツアー	30		ツ
すべての利用者向けに日常的に行われている標準プログラム	10		ツ
人数を限定する（ガイド1名あたり 30 名まで、など）	10		ツ
天候などの理由でツアーが実施できない場合の代替案は用意されていますか	10		ツ
年令別のプログラムが用意されていますか	20		ツ
科学の特別プログラムは用意されていますか	20		ツ
申請地域に関する教員向けの研修は用意されていますか	20		ツ
得点の上限	90	0	
3.8 教育 – ガイド			
専門の顧問として現役の地球科学者が1人以上いる	10		人
申請機関がその立ち上げに関わったガイド付ツアーの案内ができる専門家が1人以上いる	20		人
（グループでなく）個人を案内するガイド	10		人
申請機関がトレーニングとプログラムを支援するフリーランスのガイドがいる	10		人
研修コース	10		人
得点の上限	60	0	
3.9 学校関係者による申請地域の利用の促進のために、どのような情報を送りたいと考えていますか			
学校や大学に手紙を出す	20		情
パンフレット	20		情
マスコミへの発表（新聞、ラジオ、テレビ）	20		情
申請者が発行する定期刊行物（新聞、ニュースレターなど）	20	20	情
得点の上限	80	20	
3.10 学校用のプログラムとしてインターネットを利用しますか。どのようなサービスを提供しますか			
申請地域に関する環境教育などの一般情報を載せたウェブサイトを作成	40		情
教育プログラムに対する対応はEメールで行う	20		情
ニュースレターを定期的にEメールで配信	15		情
最新の活動カレンダー	15		情
得点の上限	90	0	

「情報と環境教育」項目の小計	得点の上限	自己採点
	1000	315